

# 海洋深層水利用学会

## 2024 年度定期総会議案書 (案)



### 議事次第

番号	項目
I	開会の辞
II	議長選出
III	会長挨拶
IV	<u>2024-2025 年度理事選挙結果</u>
V	<u>2023 年度事業報告</u>
VI	<u>2023 年度決算報告</u>
VII	<u>2023 年度監査報告</u>
VIII	<u>2024 年度事業計画</u>
IX	<u>2024 年度予算</u>
X	<u>その他</u>
XI	閉会の辞

日時：2024 年 6 月 7 日 (金)  
場所：東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館大会議室  
及び オンライン (Zoom) によるハイブリッド開催



## IV. 2024-2025 年度理事選挙結果

### 理事選出者

#### 個人会員：

池上 康之  
今田 千秋  
大内 一之  
大塚 耕司  
岡村 盡  
清水 勝公  
高橋 正征  
深見 公雄  
安永 健  
山田 勝久

#### 団体会員〔担当者氏名〕：

沖縄県〔鳩間 用一〕  
高知県〔山本 浩〕  
富山県〔辻本 良〕  
一般社団法人マリノフォーラム 21〔日向野 純也〕

※50 音順（敬称略）

## V. 2023 年度事業報告

### 1. 事務局

#### [1] 会員動向

年	月	個人	団体
2011	3	160	45
2012	3	162	45
2013	3	151	43
2014	5	148	42
2015	5	141	46
2016	5	134	44
2017	5	130	44
2018	5	122	44
2019	5	123	42
2020	6	117	40
2021	5	117	41
2022	5	111	40
2023	5	106	40
2024	5	104	41

#### [2] 2023 年度定期総会

開催日：2023 年 5 月 31 日（水）

場 所：東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館大会議室及び オンライン (Zoom) におけるハイブリッドによる審議 (Zoom)

議 題：

2022 年度事業報告  
2022 年度決算報告  
2022 年度監査報告  
2023 年度事業計画  
2023 年度予算  
その他

講演会：

学会賞記念講演 (2022 年度学会賞)

「海洋深層水で天然の魚を殖やす」

(株)人工海底山脈研究所 代表取締役 鈴木 達雄 氏

基調講演

「海洋深層水を活かしたまちづくり～産業振興と脱炭素への貢献：SDG s への挑戦～」

富山県入善町キラキラ商工観光課 課長補佐 舟本 剛 氏

#### [3] 2023 年度理事会

第 1 回 日時： 2023 年 5 月 31 日（水） 13:00 - 14:30

場所:Web 東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館大会議室及び オンライン会議 (Zoom)

第 2 回 日時： 2023 年 10 月 19 日（木） 12:00 - 13:20

場所: あいぽーと佐渡 会議室 及び Web 会議システムによるオンライン会議 (Zoom)

第 3 回 日時： 2024 年 3 月 28 日（木） 10:00 - 12:00

場所:Web 会議システムによるオンライン会議 (Zoom)

## 2. 学会賞授賞審査委員会

学会賞授与対象者、授与対象となった業績および選考経過:

沖縄県、沖縄県久米島町、久米島海洋深層水協議会

「沖縄県における海洋深層水の総合利活用による地域社会の活性化と持続性の強化」

沖縄県、久米島町および久米島海洋深層水協議会は、協同して深層水という地域資源を生かして安定した各種産業を興し、それらをもとに社会を活性化し持続性を高めることに成功しており、今後の大きな発展も期待される。特に、これまでの経緯と実績は、次の通りである。

ハワイ州は、1973年の第一次石油危機で島外からの必須資源の調達に強い危機を感じ、州立ハワイ自然エネルギー研究所(NELHA)設立し、以来、地域資源である深層水の研究と利用技術開発を進めて来た。同じ島嶼で成り立っている沖縄県も同様の危機感を強め、県の企画開発部が関連情報を収集・整理し、1995年7月には、当時の大田昌秀知事がNELHAを訪ね、ダニエル所長に沖縄県の深層水取水適地の選定協力を依頼した。ダニエル所長は、複数の候補地の中から沖縄県の深層水取水適地として久米島の真謝地区を推薦した。その後、沖縄県企画開発部企画調整室を中心に、NELHAと同じく海洋温度差発電(以下、温度差発電)の実現を視野に入れ、深層水取水深度は612mに決定した。温度差発電の実証のために、取水量は表層・深層ともに我が国最大となる日量13,000トンとなった。深層水などの利活用では、県の農林水産部が持続的な水産技術の研究開発、商工労働部が再生可能エネルギーの研究開発支援、そして久米島町が各課を上げて産業利用・地域振興の推進・大規模化構想・対外発信、さらに久米島海洋深層水協議会が民間での研究開発から商用迄の幅広い展開・大規模化構想・地域貢献に努め、沖縄県、久米島町、民間の三者が相互に協同・役割分担してそれぞれ地域特性を生かした新規産業を生み卓越した成果を上げた。

主な業績として、研究所が技術開発したウイルス汚染のないクルマエビ稚仔生産と深層水の冷熱利用で安定したクルマエビ養殖生産が可能となり、深層水の清浄性と低温性を利用したウミブドウ生産、深層水の清浄性などと沖縄地方の特産薬用動植物を利用した化粧品類などで、新規事業が興り、年間25億円規模の売り上げを達成している。深層水という地域資源を生かして競争力のある独自の産業が複数誕生し、社会の活性化と自立性を高め、それは同時に持続性の強化も生んでいる。さらに2013年からは、県の事業として100kWの温度差発電が世界で初めて連続運転に成功した。世界初のカキの陸上完全養殖をはじめとした新規事業希望が島内外(沖縄県以外も含め)に多数あり、今後、日量10万トンの深層水の需要の見込まれることが内閣府の調査から明らかになっている。

以上のように、沖縄県、久米島町、久米島海洋深層水協議会のこれまでの活躍と業績は、本学会賞に十二分に値するものと評価した。

## 3. 研究発表企画委員会

第27回 海洋深層水利用学会 全国大会

日時:開催日時:2023年10月19日(水)、20日(木)

場所: あいぽーと佐渡 多目的ホールおよびWeb会議システム(Zoom)

開催内容:

- ① 一般講演:研究発表:20題(韓国3題 含)  
海洋・水質/生物・水産/農業・畜産関連/健康・医療関連
- ② ポスター発表1題
- ③ 2023年度海洋深層水利用学会賞選考(審査)報告:委員長 池上 康之  
(佐賀大学海洋エネルギー研究所教授)

開催状況(参加者):

総員101名(スタッフ含む)

会員73名 非会員32名 学生0名(キャンセル4名含む)

内、海外参加者:台湾:3名、韓国:4名

#### 4. 論文誌編集委員会

- [1] 「海洋深層水研究 第24巻 第1号」 (2023年10月発行)  
第27回全国大会特集号
- [2] 「海洋深層水研究 第24巻 第2号」 (2024年3月発行)  
原著論文2編を掲載

#### 5. ニュースレター編集委員会

- [1] Vol.26、 No.1 (2023年7月21日掲載) ※日英両言語

報告1: 2023年度定期総会および講演会報告  
事務局長 有馬博史

- [2] Vol.26、 No.2 (2024年1月11日掲載) ※日英両言語

報告1: 第27回全国大会報告  
研究発表企画委員会委員長 清水 勝公

報告2: 海洋深層水利用促進委員会 2023 佐渡大会報告  
利用促進委員会

報告3: 海洋深層水学習推進委員会の学習イベント活動報告  
大塚耕司 (大阪公立大学)・岡村 暁 (㈱ゼネシス)・河野敏夫 (高知県海洋深層水研究所)  
高田珠江 (ドクターリセラ㈱)・安永健 (佐賀大学)

#### 6. ホームページ編集委員会

主な活動内容 ... ホームページ更新・メール配信

- [1] 開催案内・報告等

- ① 総会・理事会開催案内および報告
- ② 全国大会(研究発表会)案内・報告、ホームページからの申込み
- ③ 学会賞候補者募集および受賞者決定報告

- [2] 発刊物掲載

- ① ニュースレター:第26巻第1~2号
- ② 論文誌:第24巻第1号~2号

- [3] 既存ページの更新・追加

・活動内容、組織構成・役員等 掲載内容の更新 等

- [4] メールアドレス登録会員へのメール配信:配信件数12件

メールニュース、全国大会関連、定期総会・学会賞候補募集他学会からのお知らせ、

- [5] バナー広告

契約数:1件(2019年度からの継続)

## 7. 利用促進委員会

### [1] 2023 年海洋深層水利用学会全国大会の対応

2023 年、佐渡で現地開催されることになった全国大会に呼応して、その前日 18 時から全国利用者懇談会を行うことになった。また、企画検討に置いて、佐渡大会のみの活動内容に留まらずに継続性のある活動内容が望ましいとの提案を採択し、既に大会開催が決定している室戸、入善も視野に入れて下記を企画した。

#### 第 1 回テーマ 再発見！海洋深層水利用 2023・佐渡

今、改めて考える海洋深層水利用への期待

地球環境が大きく変わりつつある中で、新しい時代に向けて、海洋深層水は私たちの暮らしをどのように豊かにしてくれるのか？

日時：2023 年 10 月 18 日（水）16:00-18:00

場所：あいぼーと佐渡・催事スペース

（利活用の未来を Positive thinking で周知・啓発）

#### 第 2 回テーマ再発見！海洋深層水利用 2024・室戸

今、改めて考える海洋深層水利用の現状

（利活用促進に向けての課題の検討）

#### 第 3 回テーマ再発見！海洋深層水利用 2025・入善

今、改めて考える海洋深層水利用の社会実装

（佐渡で語られた夢と室戸で抽出された課題を基に、入善で社会実装に向けた利活用のあり方を提案する）

## 8. 日台韓交流委員会

### [1] 日台交流関連

1. 2023/11/13 に台湾海洋深層水学会の 2023 年度シンポジウムが海洋大学で開催された。日本からは久米島海洋深層水協議会の大道敦会長と株式会社ゼネシスの岡村盡氏がそれぞれ現地とオンラインで講演を行った。
2. 台湾セメントの OTEC の計画について報告があった。
3. 台湾探索水産が政府系ファンドを得て、魚類の馴致や二枚貝の浄化処理を行うことについて報告があった。

### [2] 日韓交流関連

1. 2023/12/7 に韓国海洋深層水利用学会大会が江原道陽陽郡で開催された。
2. 江原道陽陽郡においてスマート陸上養殖団地造成の宣布式が行われた。韓国高城群の取水管設置について説明があった。
3. 韓国高城群の第 2 海洋深層水団地造成のための新取水管敷設予算は確定したことが報告された。

### [3] その他

1. 海外研究者の招聘および海外へ渡航用の費用として、毎年 10 万円の積み立てを行う。

## 9. 総合戦略検討委員会

### [1] 関係省庁との情報交換および連携

内閣府総合海洋政策推進本部等関係機関と海洋深層水の状況報告と情報交換を行った。海洋深層水に関する第 4 期「海洋基本計画」が示され、海洋深層水利用の重要性と推進が謳われている。

## 10. 産公学連携推進委員会

### [1] 活動内容

大学や自治体等の研究機関におけるシーズと民間のニーズの発掘調査を実施し、両者を結びつけ、共同研究の促進等につながる活動の調整や支援をするため、どのような調査を誰（対象者）に行うかについて検討した。

## 11. 学習推進委員会

### [1] 活動内容

1. 2023/10/20（午後）全国大会の企画の一つとして、佐渡市の畑野小学校5年生を対象に出前授業を行った。

2. 2023/10/21（午前）全国大会の企画の一つとして、あいぽーと佐渡の催事場にて一般向けイベントを行った。イベントには小学校で行った実験と同様な実験を行った。

## 12. 海洋深層水大容量取水技術検討委員会（2023年度新設）

### [1] 委員会の開催

個人も含め19社、22名の参画を持って、2023年8月に委員会が発足。

2023年8月11日に第1回目委員会が行われ、23年度は3回の対面及びWeb形式での委員会を開催した。

2023年度の成果として下記の資料を作成し、次年度の大容量取水技術の主要技術と考えられる取水管の大口径化の検討に向けた準備を行った。

- ① 大深度取水管プロジェクト事例集
- ② 取水管選定比較表



# VI. 2023 年度決算報告

## 2023年度会計収支報告書

収入の部	人数		予算		人数		決算
<b>会費収入</b>							
個人会員	5,000	105	525,000		5,000	103	515,000
学生会員	2,500	0	0		2,500	0	0
団体会員	50,000	40	2,000,000		50,000	42	2,100,000
徴収免除会員(名誉会員)	-	1	0		-	1	0
未納分会費収入	5,000	6	30,000		5,000	2	10,000
未納分会費収入(未納者・学生)	2,500	0	0		2,500	0	0
<b>その他の収入</b>							
論文誌売上費			0				10,000
利息			0				59
雑収入							22,000
<b>当期収入合計(A)</b>			<b>2,555,000</b>				<b>2,657,059</b>
前年度繰越金			6,503,636				6,503,636
<b>収入合計(B)</b>			<b>9,058,636</b>				<b>9,160,695</b>
<b>支出の部</b>							
<b>事業費</b>							
総会			30,000				28,270
研究発表企画委員会			500,000				40,781
論文誌編集委員会			1,000,000				301,521
HP/NL編集委員会			270,556				265,056
日台韓交流委員会			100,000				0
利用促進委員会			40,000				0
学習推進委員			100,000				26,641
大容量取水技術検討委員会			0				20,920
<b>目的別積立費</b>							
海外研究者招聘(日台韓交流委員会)			100,000				100,000
<b>事務局経費</b>							
委託費			1,200,000				1,200,000
消耗品費							14,001
通信運搬費							7,553
旅費							95,190
その他事務経費							72,930
<b>当期支出合計(C)</b>			<b>3,540,556</b>				<b>2,172,863</b>
当期収支差額(A)-(C)			<b>-985,556</b>				484,196
次年度繰越金(B)-(C)			5,518,080				6,987,832

## VII. 2023 年度監査報告

2024 年 3 月 13 日

海洋深層水利用学会

会長 大塚 耕司 様

### 2023 年度会計監査報告

2023 年度における本学会の会計に関して、出納帳簿および証拠書類を精査し、現金・預金の残高と照合しましたところ、すべて適正に処理されているものと認めました。

また、その他の会務に関しましても、会則に沿って適正に執行されているものと認めました。

以上、署名の上、報告します。

監査

安永 健 

## VIII. 2024 年度事業計画

### 1. 総会および理事会

#### [1] 2024 年度定期総会

開催日: 2024 年 6 月 7 日(金) 13:30 - 15:00

場 所: 東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館大会議室  
及び オンライン (Zoom) によるハイブリッド開催

議 題: 2023 年度事業報告  
2023 年度決算報告  
2023 年度監査報告  
2024 年度事業計画  
2024 年度予算  
その他

講演会: 2024 年 6 月 7 日(金) 15:10 - 16:30

(東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館大会議室  
及び オンライン (Zoom) によるハイブリッド講演)

#### [2] 2024 年度理事会

##### 第 1 回理事会

開催日: 2024 年 6 月 7 日(水) 10:00 - 12:00

場 所: 東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館大会議室  
及び オンライン (Zoom) によるハイブリッド

ほか、メール審議を含め数回程度理事会を開催する予定

### 2. 研究発表委員会

第 28 回海洋深層水利用学会全国大会

大会名称: 「海洋深層水 2024 室戸大会」 ※仮称

開催日 : 2024 年 10 月 17 日～19 日

開催場所: 室戸市保健福祉センターやすらぎ

及び オンライン (Zoom) によるハイブリッド開催

室戸市保健福祉センターやすらぎ

住所: 781-7109 室戸市領家 87

T E L : 0887-22-3100

大会開催方式: 現地開催+Web 参加のハイブリット形式

発表方式: 現地口演+Web 発表

### 3. 論文誌編集委員会

「海洋深層水研究 25 巻」を通常号 2 冊 (5 月、3 月)、全国大会要旨集 1 冊 (10 月) を発行する。

### 4. ニュースレター編集委員会

年 4 回のニュースレター発行

内容: ニュースレター、特集、報告等

### 5. ホームページ編集委員会

ホームページ更新・メール配信

①開催案内・報告等: 総会・理事会開催、全国大会・利用者懇談会関連 (申込フォーム)、学会賞

- ②発行物:ニュースレター、論文誌
- ③既存ページの更新・追加等

## 6. 学会賞受賞審査委員会

学会賞候補者の募集（4月5日ホームページ掲示、メール配信）  
推薦期限:2024年7月31日（水）必着  
提出書類:別紙様式（郵送またはメール）  
書類提出先:海洋深層水利用学会 事務局

## 7. 利用促進委員会

### [1] 2024年海洋深層水全国利用者懇談会の企画構築

利用促進委員会の総合テーマ「再発見！海洋深層水利活用」の第2回目として、2024年室戸大会にて「再発見！海洋深層水利活用2024・室戸」と題して「今、改めて考える海洋深層水利活用の現状」を取り上げる。全国大会終了後となる大会2日目（10月18日）の午後からの開催と計画する（最長2時間）。また、利用促進委員会と海洋深層水産業利用全国自治体協議会とのジョイントイベントとする。

## 8. 日台韓交流委員会

日台韓交流協定に基づき、以下の事業を実施する。

- (1) 相互の学会大会への会員の派遣に関する事
- (2) 相互の学会論文集への論文投稿に関する事
- (3) 相互の情報誌への記事掲載に関する事

## 9. 総合戦略検討委員会

### [1] 海洋深層水利用に関する学術分野の推進

- ・外部資金への応募  
科研費「学術変革領域研究（A・B）」への申請を進めるべき体制の準備を進める。来年度の申請に向けて、早急に準備していく予定。
- ・全国の深層水利用の学術分野での利用推進  
全国の海洋深層水取水施設と全国共同利用共同研究施設 佐賀大学海洋エネルギー研究所が協力して、可能な範囲で学術的な利用促進方法を引き続き検討

## 10. 産公学連携推進委員会

[1] 2024年度は、2023年度計画に引き続き研究機関のシーズと民間のニーズ調査を中心に行う。研究機関のシーズと民間のニーズのマッチングを行い委員会で取りまとめて公表する。シーズをもとに研究機関に手を挙げて、マッチングを行う。

### [2] 深層水の「多段・多量利用」に関する調査を行う

久米島（沖縄）・室戸（高知）・入善（富山）の3カ所をモデル取水地として選抜し、多段・多量利用に対する現状および採算性を含めた問題点を洗い出す。8月中を目途に、洗い出し調査の実施を終える。9月初旬頃に次回の委員会を開催し、当委員会で情報共有する。

「多段・多量利用」を「普遍化」することで深層水の効率的利用のモデルを構築し、今のところまだ展望が開けていない他の深層水取水地の事情に適合・応用できるよう、カスタマイズする。

## 11. 学習推進委員会

### [1] 全国大会での活動準備状況

2024年の全国大会では小学校で出張授業、一般向けの方はフェスタとジョイントする計画。

## 12. 海洋深層水大容量取水技術検討委員会

### [1] 委員会編成を取水管の設置形式により下記2チームに分け、検討を深化させることとした。

浮体式チーム（リーダー：大内委員）

陸上式チーム（リーダー：白枝委員）

## IX. 2024 年度予算

### 2024 年度一般会計予算案

単位(円)

#### 収入の部

【会費収入】	個人会費収入	106 *	¥5,000	¥530,000
	学生会費収入	0 *	¥2,500	¥0
	団体会費収入	42 *	¥50,000	¥2,100,000
	2023年度会費収入(未納者)	5 *	¥5,000	¥25,000
	2023年度会費収入 (未納者・学生)	0 *	¥2,500	¥0
当期収入合計[A]				¥2,655,000
繰越金				¥6,987,832
収入合計[B]				<b>¥9,642,832</b>

#### 支出の部

【事業費】	総会			¥30,000
	研究発表企画委員会			¥600,000
	論文誌編集委員会			¥1,000,000
	HP/NL編集委員会			¥265,056
	利用促進委員会			¥40,000
	日台韓交流委員会			¥100,000
	学習推進委員会			¥100,000
	大容量取水技術検討委員会			¥100,000
【目的別積立費】	海外研究者招聘(日台韓交流委員会)			¥100,000
【事務局経費】	委託費			¥1,200,000
	その他事務経費			¥200,000
当期支出合計[C]				¥3,735,056
次年度繰越金[B]-[C]				¥5,907,776
当年度収支[A]-[C]				<b>(¥1,080,056)</b>

#### 目的別積立の部

海外研究者招聘(日台韓交流委員会)	¥100,000
	¥100,000

## X. その他

なし